

令和7年度 見本市出展報告書

事業所名: 山喜製陶株式会社

1) 見本市の概要

見本市名	やきものワールド 2026
会期	2026年3月5日(木)~9日(月)
場所	ポートメッセなごや

2) 出展の詳細

出展回数 / 今回の小間数	通算複数回 / 1小間
---------------	-------------

3) 見本市へ出展する目的

消費者の声を直接聞くことができる貴重な機会であるとともに、新商品の市場調査を行うため。

4) 会期中について

展示した商品内容(出展商品名、新商品・従来品の割合等)

陶磁器食器。弊社は業務用の取り扱いが多いのですが、今回はフェアということで主に日常使いに適した商品を販売しました。商品構成としては茶碗30%、丼10%、小鉢20%、小皿が10%、大皿10%、角皿10%、湯呑み10%です。

販売力強化戦略(商談成立のための工夫、ブース内の展示の工夫等)

商社の販売や、作家の出展が多かったのに対し、弊社はメーカーということもあるため比較的手頃な価格での提供で差別化を測りました。とはいえ、通常で卸す価格よりは倍以上の利益率での販売ができました。また、商品形状のバリエーションを増やし、展示することで多くのお客様にご来訪頂けたかと思っております。一方で展示什器や照明等に課題を感じましたので次回以降につなげていこうと思います。

5) 総括

来場者の傾向・見本市全般の感想等

想像以上の来場者数だったと感じています。出展スケジュールについて、一昨年までは3連休などに絡めたスケジュールになっていたと思います。今回休みが土日しかなく、やはり平日の来場者数が少なく感じました。特に最後の月曜はとて少なかったです。お客様の傾向は圧倒的に消費者が多かったです。商談向けよりは一般顧客向けのイベントであり、市場調査に適していると感じました。会場都合もあるかと思いますが、3連休に絡めた日程だとよりイベント来場者数が増えると思います。

出展の成果 ※販路開拓委員会から出展することで得られた成果も記載

消費者のお声が聞けたのは大きな成果です。現在の商品で何が売れて何が売れないかを確認できたのは今後の大きな商品開発に繋がれると感じました。売れると思っていた商品が売れなかったり、売れないと思っていたのが売れたりとやはり直接顧客の声を聞くのは重要だと感じました。出展自体に限った話では、販路開拓委員会として出展している実感は特にはないです。ただ、今後も出店費用を補助していただけることはとても助かりますので引き続き補助を利用したいと考えております。

今後の課題と活動方針

今後の一番の課題は展示の見せ方です。什器が不足していたり、照明が不足しており、商品の魅力が十分に伝わらなかったと反省しております。こちらに関する費用の補助金等があればぜひ利用したいと思います。

6)当日のブースの様子、新商品や主力商品

